

提出書類一覧表（実務者研修受講資金）

貸付後の返還猶予申請については、貸付決定通知の案内を参照のうえ、申請してください。

返還猶予中は、御自身の状況に応じて、該当の書類を期限までに提出してください。

【 研修修了年度に受験要件を満たしていなかった方 】

状況	提出書類
<p>ア 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事中有る。</p> <p>前回届け出た従事状況から変更はなく、初回受験年度も変更ない。</p>	<p>①現況届（第28号）</p> <p>※従事先の押印（公印）が必要。</p>
<p>イ 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事していたが退職した。</p> <p>介護業務に再就職し、初回受験年度も変更ないが、従事先変更等の届け出を行っていない。</p>	<p>①返還猶予申請書（第14号／申請理由「6」） …返還猶予申請期間は、《退職した月の翌月1日》から《初回受験予定の年度末》まで</p> <p>②業務従事先変更届（第25号）</p> <p>③在職証明書その2（第31号／退職した従事先から取得）</p> <p>④在職証明書その1（第30号／再就職先から取得）</p> <p>※③④は従事先の押印（公印）が必要</p>
<p>ウ 受験要件（実務経験）を満たすために、介護業務に従事していたが退職した。</p> <p>返還猶予申請時に届け出た初回受験年度に受験しない（実務経験を満たしたが、届け出た初回受験年度に受験しない）。</p>	<p>返還手続きとなります。</p> <p>まず、本会に御連絡ください。</p>
<p>エ 研修修了年度には、受験要件（実務経験）を満たしていなかったため受験できなかったが、その後、受験要件を満たし、受験した。</p> <p>介護福祉士資格を取得し、福岡県内で対象業務に従事中有る。</p>	<p>①返還猶予申請書（第14号／申請理由「3」） …返還猶予申請期間は、 《現在の返還猶予が終了した月の翌月1日》から 《資格登録月又は従事開始月のいずれか遅い月から起算して2年後の月末》まで</p> <p>②業務従事届（第24号）</p> <p>③在職証明書その1（第30号）</p> <p>④国家資格登録証のコピー</p> <p>※③は従事先の押印（公印）が必要</p> <p>※次年度からは、現況届（第28号）を提出すること。</p>

【令和3年度以降の契約者／返還猶予期間中の書類】

状況	提出書類
オ 研修修了年度には、受験要件（実務経験）を満たしていなかったため受験できなかったが、その後、受験要件を満たし受験した結果、不合格であった。 翌年度も受験予定である。	①返還猶予申請書（第14号／申請理由「5」） …返還猶予申請期間は、 《現在の返還猶予が終了した月の翌月1日》から 《翌年度末（翌年の3月31日）》まで ②受験したことがわかる書類（不合格通知コピー等） ※不合格であっても、毎年受験する場合は返還猶予の対象となるため、この届出を行うこと。 ※毎年受験しなかった場合、又は届出を行わなかった場合は返還となるため、まず、本会に連絡すること。
カ 介護福祉士資格を取得したが、福岡県内で対象業務に従事していない	返還手続きとなります。 まず、本会に御連絡ください。
キ 借受人・連帯保証人の住所・氏名に変更があった場合	①住所、氏名変更届（第21号） ②住民票など変更事項を証明する書類

【 返還免除（当然免除）手続き 】

状況	提出書類
ク 介護福祉士資格を取得し、福岡県内で対象業務に免除要件期間（2年以上）従事した。	①返還当然免除事実発生届（第17号／申請理由「1」） ②在職証明書その1（第30号） ③国家資格登録証のコピー ※②は従事先の押印（公印）が必要 ※免除要件期間を満たした後に退職した場合は、①と在職証明書その2（第31号）、③を提出 ※休職期間が生じた場合は、休職、復職、停職届（第29号）も提出すること。休職期間（休職開始月の1日から休職終了月の月末まで）は、免除要件期間として算定しない。